

I. 2023年度事業計画案

1. 事業計画概要

当協会では、建設工事の基礎材料である鋼管杭・鋼管矢板・鋼矢板に関して、材料や製品、設計や施工についての豊富な経験や知識を有しており、これらを社会にフィードバックするとともに、技術の進化や標準化を図り、普及活動を行うことによって、経済的で安心・安全な社会資本形成に資する活動を推進している。

2023年度は、昨年度より検討を行ってきた協会の組織改善計画に基づき、新体制による活動をスタートする。

新体制では、技術委員会体制の見直しによる活動の効率化により、メリハリを持った活動で早期に成果を出すことを志向していく。また、施工に特化した組織体として、施工委員会を立ち上げ、施工機械の大型化・杭材の長尺化、ICT技術の活用による施工管理の強化対応、施工要領の基準化・標準化などに向けた活動を始動していく。

個別の研究活動としては、施工性改善の観点で鋼管矢板基礎の大型化・大深度化への検討を開始する。建築分野では、実務に向けた2次設計法の整備を継続し（群杭フレームモデル）、鋼管優位性発揮のための普及活動を行う。

設計法の標準化・基準化においては、道路橋示方書の改訂、港湾基準改定に向けた技術検討をそれぞれ進める。

また鋼矢板では、国交省「河川堤防の強化に関する技術検討会」に係る技術公募を行い、鋼矢板二重壁工法の公的オーソライズ化に取り組む。

技術の普及においては、昨年から取り組んでいる「鋼管杭 ―その設計と施工―（赤本）」改訂作業を継続し、逐次ホームページへのアップロードを行っていく。

鋼管杭の施工資格の普及と施工管理の向上を意図して実施している資格試験制度においては、昨年度から開始した他杭種部門との連携統合の議論を深め、統合された権威ある杭施工試験制度の在り方を追求する年としたい。

2. 理事会、社員総会の開催・運営

- | | |
|--------------|------------|
| (1)理事会 | 5回程度 |
| (2)社員総会 | 1回（定時社員総会） |
| (3)技術総括委員会 | 毎月1回以上 |
| (4)拡大技術総括委員会 | 各月1回程度 |
| (5)資格運営協議会 | 毎月1回程度 |

3. 広報・普及活動

3-1 文書の発行および広報活動

- (1) 機関誌「明日を築く」 91号発刊

3-2 論文投稿

- (1) 雑誌「基礎工」（鋼矢板特集号「最近の鋼矢板工法」）

3-3 協会ホームページ改定

- (1) 施工関連の内容拡充
(2) 技術資料等のDL環境の更なる充実化、公開内容の更新の推進

4. 委員会活動計画

以下の研究および技術活動を予定している。

委員会名	活動項目	成果・目的
施工委員会	1. 施工管理要領の整備、更新 2. JASPP版資料の整備、更新 3. 各種公的規準への織込み 4. 施工資格制度検討 5. 横断テーマの探索	1. JASPP版施工管理要領のフォロー、メンテナンス 各社施工計画書への反映浸透 2. 鋼管杭-その設計と施工-(赤本)施工編の見直し方針策定、資料作成着手 3. 道示・鉄道標準・港湾基準等における施工面での他技術委員会との連携、素案作成 4. 資格・更新講習会の支援(テキスト改訂、講師派遣) 資格統合に向けた施工社意見集約 5. GX・DX・積算基準等工法横断テーマの発掘
鋼管杭技術委員会 (土木基礎小委員会)	1. 道示改定対応 ①2023年次期道示改定対応 ②2028年次々期道示改定に向けた検討(道路協会/性能評価・診断小委員会/支持力・安定WG、柱・壁・基礎(部材)との連携) 2. 22年度繰越活動	1. 道示改定対応 ①H29道示レベルの内容維持：国総研・土研からの要請に対応し、鋼管杭に不利な記載がなされないように注視 ②課題抽出/効果推定・取組テーマ選定 →超年度計画の策定。道路協会WGによる道示改定の方向性より、課題抽出・優先度・出口戦略を都度見直す。 2. 22年度繰越活動 ①赤本「4.2道路構造物の設計」発刊 ②橋台前面壁補強マニュアル作成 ③鉄連学助成テーマの成果まとめ
鋼管杭技術委員会 (鋼管矢板基礎小委員会)	1. 鋼管矢板基礎の施工性改善による大型化・大水深への対応	1. 継手管長の短縮 ①継手管長短縮の影響度評価 ・様々な形状・規模に対する継手管長短縮の影響度合いの把握 ②施工方法と施工性改善度検討 ・継手管長が短くなることによる施工品質への影響把握 ③挙動特性の評価 ・目指すべき構造案の絞り込み(既存情報の整理への着手)

委員会名	活動項目	成果・目的
鋼管杭技術委員会 (鋼管矢板基礎小委員会)	2. R5便覧（日本道路協会）に基づく設計計算例 3. R5便覧発刊後の対応	2. R5便覧に基づく設計計算例の作成・発刊 ・R5便覧における設計ポイント（パイプロ区間の周面摩擦力の取り扱い、頂版及び頂版接合部の設計等）を表記した設計計算例の作成（発刊/2023年9月末公開目標） 3. R5便覧発刊後のフォロー活動 ・R5便覧発刊後の問い合わせや設計計算例の作成と連動させた設計ソフト（Forum8）のフォロー活動による設計環境の整備
鋼管杭技術委員会 (建築基礎小委員会)	活動テーマ 建築2次設計法の整備 1. 群杭の水平抵抗（群杭係数算定法の構築） 2. ずれ止めのないコンクリート充填部、杭頭接合部の強度と変形性能	①目的：鋼管杭が使用される環境を作り出す為の設計方法の標準化とツールの実用化 →次期「建築基礎構造設計指針（日本建築学会）」への反映 ②成果：鋼管杭基礎の設計実務に適用できる群杭係数算定法の構築・提案（砂質土地盤，粘性土地盤，杭配置影響など） ① 目的：「基礎部材の強度と変形性能（日本建築学会）」改定に向けた技術課題の検討 →改訂版への反映 ② 成果：合理的な強度・変形性能の算定法の構築・提案
鋼管杭技術委員会 (港湾基礎小委員会)	1. 栈橋の性能照査手法の高度化 2. 重防食塗装の長期耐久性 3. 打撃工法の打止め管理高度化	1. 次期港湾基準改訂対応 ・鋼管杭のピーク耐力後の扱いの明確化 → 限界曲率を越えた後の照査指標の導入（港空研との共同研究 22FY～24FY） 2. 波崎観測栈橋の長期暴露観測(39年目) ・重防食塗装の耐久性の実証 3. 測定用ヤットコを活用した打止め管理手法の実用化にむけた検討 ・22FYの実海域実験（東京港）の成果を論文にて公表。
鋼矢板技術委員会	1. 国交省「河川堤防の強化に関する技術検討会」に係る技術公募への対応	1. 国交省「河川堤防の強化に関する技術検討会」に係る技術公募への対応 ①目的：越水に対して粘り強い河川堤防強化技術としての鋼矢板二重壁工法の公的オーソライズ化 ③ 成果：国分川追加調査（上期）

委員会名	活動項目	成果・目的
鋼矢板技術委員会	2. 鋼矢板技術委員会共通事項 ①建設コンサルタント協会技術講習会対応 ②基礎工執筆対応 ④ Q&A改定対応	技術提案書作成・提出（上期） 技術評価(A or B分類)獲得、 国交省より技術比較表公開（下期） パイロット工事対応（2024FY～） 鉄連学助成研究（2022～2024FY） 2. 鋼矢板技術普及・定着に向けた技術基盤整備 ①技術講師対応(上期:内容調整, 下期:実行) ②鋼矢板二重壁に関する技術投稿(7月～) ③45H/50H追記, 縦継ぎ仕様追記(上期)
製品技術委員会	1. 2022年度活動報告のまとめ 2. 規格・技術資料の改訂推進 ①JIS A 5525, 5530 改正提案 3. 鋼管矢板井筒の施工性改善対応 ①製品および製造仕様に関する見直し検討 4. 新規課題への対応	1. 活動報告書の取りまとめ。 2. 規格・技術資料の改訂推進 ①鉄連への改正原稿案の提案および改正内容についての調整 3. 鋼管矢板井筒の施工性改善対応 ①施工性改善策に伴い製品仕様、製造仕様見直しの必要性が生じた場合の対応についての検討を実施する。 4. 新規課題への対応 新規に発生した課題への対応を検討。
広報委員会	1. 「明日を築く」発刊 2. ホームページ定期更新	1. 「明日を築く第91号」発刊 ①紙面構成、寄稿・取材PJ等の候補案の策定 ②執筆依頼、原稿案の作成、印刷、製本、郵送等の取りまとめ (2023年度末発刊予定) 2. ホームページの定期更新 ①技術資料等のDL環境の更なる充実化や公開内容の更新の推進 ②必要に応じたメンテナンスの実施
赤本改訂編集WG	1. 「鋼管杭—その設計と施工—」の改訂	1. 「鋼管杭—その設計と施工—」の改訂 ①各編の執筆進捗のフォロー、原稿案の作成・取りまとめを実施 ②分冊による随時公開 (全編公開は2023年度末完了予定) ③ 公開後のフォロー活動

5. その他の活動

5-1 2023年度鋼管杭施工管理資格関連の活動計画案

鋼管杭施工管理士検定試験、関連事業への参画・支援を継続

① 鋼管杭施工管理士検定試験委員会への参画

- ・ JASPP委員：委員長（岡原代表理事）、委員4名（技術総括委員3名+事務局員1名）
- ・ 検定試験実施

試験予定日：2023年11月19日（日）（受験申込みは9月1日から10月20日を予定）

試験場所：仙台、東京、大阪、福岡の4箇所

定員：180名（新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた1人/机配置）

② 講習会事業共催（主催：全基連 共催：JASPP/全国圧入協会）

- ・ 講習会開催：

講習会予定日：2023年8月27日（日）

場所：東京＋WEB同時配信

【参考資料】鋼管杭施工管理士検定試験委員会委員 構成

試験委員会委員(敬称略, 順不同)			
役職	名	委員名他	
委員長	1	岡原美知夫	
有識者委員	1	日下部治	
専門委員	5	吉田映、水越和弥、山下久男、福若雅一、小山清一	
委員	土研	1	桐山孝晴
	JASPP	9	技術総括委員(3名)、事務局員、計4名
	全基連		幸保英樹(副委員長)他、計3名
	JPA		那須雄彦(監事)他、計2名

③ 「基礎施工士」への統合活動

- ・ JASPP委員：委員長（岡原代表理事）、委員4名（技術総括委員3名+事務局員1名）
- ・ JASPP、日基協、コピタの3協会にて、三協会資格連絡会を開催し、鋼管杭施工管理士と基礎施工士との統合に当たっての課題解決案作成2023年度内を目指す。

5-2 出版事業

施工者向け参考図書「鋼管杭一施工と施工管理一」の出版